

Poco Papoco ぽこあぽこ

「福祉は人なり」

就労支援施設 統括責任者

大谷 晃 司

平成 27 年度 4 月スタート時点での通所事業所のご利用者数は 97 名（今人 35 名 我楽 36 名 すみれの里 26 名）となりました。私が責任者として従事するようになった平成 24 年当時と比較すると、約 3 倍の方にご利用いただいていることとなります。これは地域で生活をされている障がいをお持ちの方の「日中活動支援に対する以和貴会の取り組みの成果だといえるでしょう。」さて、私が統括する日中活動支援事業所を運営するにあたっての課題は次の三点であると考えています。

まず 1 つ目は、利用する側（ご本人及びご家族）のニーズに合った活動の提供です。現在当法人ではパンやクッキーの製造販売、食堂やカフェの運営、清掃業務、畑作業など多くの活動を提供しています。2 つ目は、活動環境です。小規模かつ多種類の活動を維持するためには、多くの職員、場所、設備が必要となります。3 つ目は職員の質です。一番重要なのがこの 3 つ目でしょう。人格や福祉観から福祉専門職としてのスキルに至るまで幅広くかつ多岐にわたる「質」を、日々の活動や職員との個別面談等により醸成させていかななくてはなりません。当法人では、年度毎に法人方針が打ち出されます。それを受けて各事業所が策定した事業所方針を基に、各職員が年間目標シートを作成します。このシートを使って個人面談を実施し、各個人の質の向上に役立てています。面談の中では、以下のことをスタッフに必ず伝えています。

「ご本人支援の基本」

- 「ご本人の声（声なき心の声も含めて）を聞くこと」
- 「ご本人が自己決定していくことを支援すること」
- 「我々支援者は黒子であることを自覚すること」
- 「ご本人中心の考え方」
- 「障がいの有無に関わらず、どなたもが人としての基本的な権利を持たれていること」
- 「ご利用者の主体的選択、自己決定を最大限に尊重しながら支援活動を展開すること」

これらのことを各職員が支援の基軸として自覚したうえで支援にあたるよう指導してきた成果として、支援場面においてそれぞれが責任をもって取り組む姿勢が表れてきたと感じています。しかし、まだまだ道半ばであり、今後不断の努力を持って更なる高みを目指していかなくてはなりません。それが前理事長の「福祉は人なり」という言葉を具現化することにつながると信じています。本年度の法人方針は「万事入精」です。この方針を念頭に、如何なる事にも心を込めて取り組んで参ります。

通所事業商品紹介

「今人」「我楽」「すみれの里」では、「物を作る」活動を多岐にわたり行っています。皆様も、香芝市のイベントなどで目にしてくださったことがあるかと思います。ここに、通所事業所にて製造しております商品をご紹介します。ぜひ、一度ご賞味下さい。

「どこで買うことができるの?」「イベントの景品にしたいのですが・・・」など、ご興味のおもちの方は気軽にお問い合わせください。



ほくほくパン工房
Felice(ぶえりーちえ)

香芝市今泉 451
ナチュラルカフェモンステラ
香芝市総合福祉センターなどで販売

おいしい焼きたてパンの移動販売を行っています。

100円のラスクは種類も15種類と豊富でおすすめです 一番人気の

パンは米粉を使った米粉のミニクロワッサン(こめくる)です。

チョコ入りもあり、この夏から新発売の紅茶のこめくるもおすすめです!

パンもラスクも、利用者様とていねいに一つ一つ手作りしています。



ふれあいキッチン
そら「SORA」

香芝市逢坂 374 - 1

〔香芝市総合福祉センター内〕

地域の皆様に喜んでいただけるようリーズナブルな価格でメニューを提供しています。この夏の人気メニューは、冷やしトマトバジルうどん(写真 上)、冷やし豚しゃぶうどん(写真 下)です。

座席数50席の広々とした店内になっていますので、ゆっくりランチタイム・ティータイムにご利用ください。





Natural café
モンステラ



Sweets Factory
モンステラ

香芝市磯壁 1057-3〔ポノビル1階〕

月替わりの限定パンやキャラクターパンが大人気！また、新鮮な野菜をたっぷり使ったサンドイッチをご用意していますので、ぜひ、お気軽にご利用ください。

店頭では「Sweets Factory モンステラ」のシフォンケーキも販売しています。卵、牛乳をたっぷり使用し、ふんわり、しっとり焼き上げたケーキです。プレーン、メープル、紅茶、豆乳の4種類があります。



Natural farm
モンステラ

香芝市逢坂 509-1（すみれの里）

すみれの里『ナチュラルファーム モンステラ』では、育てた旬の野菜を販売しています。

この夏のおすすめ商品は、『ナス』『ゴーヤ』『キュウリ』です。

新鮮な野菜を提供できるよう利用者様と共に心を込めて育てております。

香芝市総合福祉センター内エスカレーター横にて、毎週のふえりーちえのパン販売日（月・水・金）に野菜を販売しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

天候や野菜の成長により収穫量は変化致します。必ずあるとは限りませんので、ご了承ください。



すみれの里ボランティアさんご紹介

「すみれの里」では、ボランティアの方々に支えていただきながらいろいろな活動を行っています。ご協力くださっている団体とそれぞれの活動内容をご紹介します。

朗読ボランティア あじさい



朗読ボランティア「あじさい」は、自力で本を読むのが困難な方に対面朗読をする活動をされているボランティア団体です。

月に2回すみれの里にて紙芝居・歌などを披露して頂いています。ご利用者の皆さんは毎回とても楽しみにしておられ、中には準備の手伝いをされる方もおられます。

紙芝居は迫力のある朗読にご利用者みなさんわくわくしながら真剣に聞き入っておられます。歌を歌う際にはご利用者も一緒になつかしい曲や童謡などを歌って楽しまれています。

喫茶ボランティア クラフトボランティア ふたば



「ふたば」は、ご利用者と喫茶やクラフトを一緒に楽しみながら、ふれあい活動をされているボランティア団体です。喫茶・クラフトともにすみれの里にて月1回ずつ実施して頂いています。喫茶ではお店にお茶をしに行くような雰囲気になるように、いつもテーブルクロスや季節のお花でテーブルを飾ってくださいます。お茶とお菓子をご提供いただき、ご利用者と一緒にその月の誕生日のご利用者のお祝いをしたり、ひなまつりやクリスマスなど季節に合わせて歌を歌ったり、様々な楽しい企画を考えて実施して頂いています。



クラフト活動ではハサミやのりなどを使ってご利用者と一緒に飛び出すカードを作ってくださいています。季節に合わせて毎月カードが変わり、皆さんとても楽しみにされています。

音楽ボランティア
中野さん



個人ボランティアの中野さんは、月1回すみれの里にて歌遊びを実施してくださっています。ご利用者の皆さんは、ピアノに合わせて歌ったり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、手足を使って表現したり、それぞれ活発にからだを動かして、一緒に音楽を楽しまれています。

すみれの里 地域清掃・リサイクル活動



毎週木曜日すみれの里周辺で、すみれの里・SORAのご利用者・スタッフでごみ拾い等の清掃活動を実施しています。清掃活動を通じて、地域の方に以和貴会の活動を知って頂くきっかけにしたいと考えています。少しずつですが地域の方に声をかけて頂けることもあり、ご利用者・スタッフ共に喜びを感じています。これから暑い季節になりますが、以和貴会の「ECOレンジャー」として活動していきます。

すみれの里ではリサイクル活動として空き缶・ペットボトル・新聞・古雑誌・ダンボールの回収を行っています。現在近隣のコンビニエンスストア3か所にご協力いただき、定期的に空き缶・ペットボトル・ダンボール等の回収をさせて頂いています。空き缶については一定量の回収ができ、缶の洗浄や、缶つぶしなどご利用者の活動に繋がっています。廃品回収には普段からご協力いただいておりますが、回収量としてはまだまだ余裕がありますので、今後とも皆様方のご協力をお願いいたします。

各事業所に回収BOXを設けております。回収に関しお問い合わせなどありましたらすみれの里までお願いします。

お問い合わせ：すみれの里 0745-71-8011

心の運営

理事 岩井俊二

素直な心

主にゆらくの里と風鈴山荘に勤務されている職員さん方を対象に、「折々の記」と称したメッセージを月に2～3回発信しています。「相手の立場」と題して6/19に発信した中で松下幸之助氏が語った言葉を紹介しました。概略次のような内容です。

「欲望というものは、人間の生命力であり、エンジンやからな。それを抑えたら、人間生活が成り立たん。だから大いに満たしていったらええ。しかしな君、君の隣の人も、同じように自分の欲望を満たしたいと思っていることは認めるか」

「それは認めます」

「そやったら、隣の人の欲望を妨げることなしに君の欲望を満たすのなら、大いに満たしたらええわけやな。ところが私心にとらわれるというたら、自分の欲望さえ満たせば後は知らんという心持ちやな。そこがいかなのやな。自分も生き、隣の人も同時に生かす、そういう自他ともに生きることを大切に考えるのが素直な心やないか」

「なるほど、そう考えるとらくですね。」

私どもは、松下幸之助とのこういったやりとりの中で、私心と公心、個人生活と集団生活との関係を考えました。

幸之助氏の対話の相手は、私のまた従兄にあたる者で、松下幸之助の側近として永年働いていました。

自然な心

中国の春秋戦国時代は諸子百家と言われる多くの思想家が現れた時代です。秦の始皇帝による統一までのおよそ550年にわたって諸国が覇権争いを続けてきました。

戦いの明け暮れに倦みつかれた人たちの中から「この社会をよくするにはどうすればいいのか。また、それを実現できる指導者、リーダーシップとは」「乱世で生き残る処世術とはどのようなものか」といった難問解決のアプローチの違いによって多彩な先生（諸氏）が現れ儒家、法家、兵家、道家、墨家といった学派（百家）を形成していきました。

NHKのEテレ「100分 de 名著」で道家の『莊子』が取り上げられました。各派の主張の解説は別の機会に譲り、あるがままの状態に逆らわない生き方を提唱した『莊子』について、臨済宗妙心寺派の僧侶で芥川賞を受賞された作家でもある玄侑宗久師による解説に沿って学びたいと思います。

解説にあたって玄侑さんは『「自分の生にとってよかれという私情こそがよくない。それが却って身のうちを傷つけるのだから、私情なく自然に従うべきだ」「私情を差し挟まなければ、天下はうまく治まる』』という『莊子』のエキスを紹介され、そして個人も国家もエゴを主張しあう現在こそ、肩の力を抜いて「和」を目指すことを説く『莊子』はとても重要な書だと思ふとの見解を語られました。事を成すにあたっては、広く関係者の意見を集め、意見を集約し、ベクトルを合わせ、計画・準備をし、実現・実行し、そして次の段階へと進む際の後始末を含めての「和」であることを教えられました。

下記は道家の主張を端的に表している『莊子』の刻意篇の一節です。

感じて而（しか）る後に応じ、迫られて而る後に動き、已むを得ずして而る後に起ち、知と故とを去りて、天の理に循（したが）う。

* 「已むを得ず」は、「しかた無しに」というネガティブに捉えられることが多く
なりましたが、肯定的な意味で小賢しい知恵や意志（人為）を捨ててただ天道
自然の理に従い、他からの働きかけを受けて初めてそれに応じることが良いと
いう主張です。

自由な心

法人のサービスを受けておられるご利用者さんやご家族のお気持ちや心のうち、ご利用者を支える職員さん方のお気持ちや心のうちは前述の「素直な心」「自然な心」とは若干異なった面を持たれていると思います。

「ご利用者さん方が抱えておられる身心上のハンディや受けたいと望まれている支援と提供されているサービスとのギャップ」「職員さん方の支えたいというお気持ちや思いと時間的にも経済的にもゆとりのある私生活を求めること」等もそれぞれ素直な心であり、自然な心でもあると思います。

一方、法人という組織体を運営する上でのポイントはご利用者の安全・安心・安定・快適を確保すると共に、労働環境の向上にも努め、職員さん方とご家族の生活を支えることに尽きると言えます。

それらのことを覚えつつ、機能面、効率面と言った面に配慮すると共に財政面も重視しなければなりません。そして、行政の施策や地域との共生といった面についても考える必要があります。

以上のようなことを制約として捉えることなく、お互いの立場、状況を理解しつつ、最善、最適の選択ができるような判断材料として受け止めて、自主的に「自由な心」を持って納得し、運営方針に反映することができればと願っています。

平成26年度 決算公告



社会福祉法人 以和貴会

理事長 下村 卓司

資金収支計算書の要旨

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	事業活動収入	616,650
	事業活動支出	583,249
	事業活動資金収支差額	33,400
施設整備等に よる収支	施設整備等収入	267,380
	施設整備等支出	309,635
	施設整備等資金収支差額	△42,255
その他の活動に よる収支	その他の活動収入	-
	その他の活動支出	1,260
	その他の活動資金収支差額	△1,260
予備費支出		
当期資金収支差額合計		△10,115
前期末支払資金残高		146,098
当期末支払資金残高		135,983

事業活動計算書の要旨

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		当年度	前年度	増減
減の部 サービス活動増	サービス活動収益	606,366	579,550	26,815
	サービス活動費用	595,702	607,503	11,800
	サービス活動増減差額	10,663	27,953	38,616
増の部 サービス活動外	サービス活動外収益	10,284	8,872	1,412
	サービス活動外費用	7,582	4,897	2,685
	サービス活動外増減差額	2,701	3,974	1,273
経常増減差額		13,365	23,978	37,343
特別増減の部	特別収益	28,030	1,420	26,610
	特別費用	28,606	15,103	13,503
	特別増減差額	576	13,683	13,106
当期活動増減差額		12,788	37,661	50,450
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	117,538	106,620	10,918
	当期末繰越活動増減差額	130,327	68,958	61,368
	基本金取崩額			
	その他の積立金取崩額		50,000	50,000
	その他の積立金積立額	1,260	1,420	160
	次期繰越活動増減差額	129,067	117,538	11,528

貸借対照表の要旨

平成27年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	213,178	160,724	52,454	流動負債	98,180	20,181	77,998
固定資産	1,105,767	847,687	258,080	固定負債	225,093	20,492	204,601
(基本財産)	926,533	664,544	261,989	負債の部合計	323,273	40,673	282,599
(その他の固定資産)	179,234	183,143	3,909	基本金	640,965	640,965	0
				その他積立金等	225,640	209,234	16,406
				次期繰越活動増減差額	129,067	117,539	11,529
				(うち当期活動増減差額)	12,789	37,662	50,450
				純資産の部合計	995,672	967,738	27,935
資産の部合計	1,318,945	1,008,411	310,534	負債及び純資産の部合計	1,318,945	1,008,411	310,534

社会福祉法人の経営実態を明らかにし、事業の健全性と経営の透明性を確保することにより、事業の成果を多くの方に見ていただくため、社会福祉法人以和貴会は、ホームページ及び法人機関誌「ぽこあぽこ」において、積極的に事業運営及び財務状態に関する情報を公表しております。

<http://www.yuraku.or.jp/process/>

平成 27 年度予算

平成 27 年 3 月 21 日開催の理事会及び評議員会におきまして、下記予算を承認いただきました。今年度は、報酬改定により介護報酬単価のみを考えた場合、若干の減少すると予想されましたが、新たに共同生活援助事業「風鈴山荘」の開所、それに伴う各事業の定員変更などがあり、事業活動収入は及び事業活動収支は、26 年度決算よりも改善する見込であります。直近及び将来の設備投資のために使用していく予定であります。

(単位:千円)

拠点名		ゆらくの里	今人	地域	合計	消去	合計
事業活動による収支	事業活動収入	366,672	174,583	162,544	703,799	△4,168	699,631
	事業活動支出	343,826	130,027	156,828	630,681	△4,168	626,513
	事業活動資金収支差額	22,846	44,555	5,715	73,117	-	73,117
施設整備等による収支	施設整備等収入	-	-	-	-	-	-
	施設整備等支出	21,178	6,000	22,044	49,222	-	49,222
	施設整備等資金収支差額	△21,178	△6,000	△22,044	△49,222	-	△49,222
その他の活動による収支	その他の活動収入	7,000	-	21,000	28,000	△28,000	-
	その他の活動支出	17,500	32,700	2,000	52,200	△28,000	24,200
	その他の活動資金収支差額	△10,500	△32,700	19,000	△24,200	-	△24,200
予備費支出		-	-	-	-	-	-
当期資金収支差額合計		△8,831	5,855	2,671	△304	-	△304

平成 27 年度事業計画

社会福祉法人以和貴会では、平成 27 年度の法人方針として「万事入精」を掲げます。あらゆることに丹精を込めて、誠心誠意尽くしていく大切さを意味し、この言葉は、住友家の創始者である住友政友が 1650 年頃に「文殊院旨意書」に記した心得書で、商いの心得を奉公人に向けて説いた言葉です。

将来のことを考えた時、今何をすべきか、すること一つ一つに対して万全を尽くしているのかなど、自分に問いかけ、見つめなおすことが大切です。職員 1 人 1 人が、この思いをもって行動できることを期待しております。

以和貴会 新入職員紹介



まつした たくえい
松下 卓永

所属 今人

5月より、ワークサポートセンター今人で勤務させてもらっています。障がいのある方々にしっかりと寄り添い、暮らしを支えられる支援者になれるよう前向きに取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(5月1日入社)



まつもと あやか
松本 亜弥加

所属 今人

5月より、今人で働かせていただいています。まだまだ経験不足ですが、みなさんと一緒に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(5月1日入社)



いのうえ
井上 かおり

所属 すみれの里 (アシスタント)

5月からすみれの里で勤務させていただいています。わからないことばかりで戸惑う毎日ですが、笑顔でお迎えできるよう頑張ります

(5月11日入社)



もりぐち ゆみこ
森口 由美子

所属 ゆらくの里

6月から入職しました森口です。早く仕事を覚えて、利用者様に喜んで頂けるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(6月1日入社)

「賛助会員ありがとうございました」

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

ゆらくの里

中筋廣次、高木清治、三島茂子、平岡靖介、増尾明広、石坂紀子、川北司郎、宮地恵美子、堀井信裕、丸尾和夫

地域事業

藤井宏美、中塚正人、公文哲夫、平田典子、井伊 政光

業者ほか

岡村プロテックス(株)、阪本石油(株)、(株)田原建設、明治牛乳関屋販売所、(株)タクサン
(株)ステップワン、老松園

(順不同、敬称略)

「賛助会員募集」

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

早いもので今年も半分を終え、花火の音が聞こえる季節となりました。夏はお祭りや花火大会など楽しみなイベントが盛りだくさんです。しかし、連日のように猛暑が続いております。熱中症予防のため、こまめな水分補給を心掛けましょう。

発行： 社会福祉法人 以和貴会
住所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺6 1 6 番地
編集責任者： 理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行： 平成27年7月